

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【公開番号】特開2007-66091(P2007-66091A)

【公開日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-010

【出願番号】特願2005-252472(P2005-252472)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

G 0 6 F 13/10 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/12 C

G 0 6 F 13/10 3 3 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月26日(2008.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネットワーク通信手段を介してネットワークデバイスを検出し、当該検出したネットワークデバイスに対応するデバイスドライバを自動インストールする情報処理装置であって

、
接続するネットワークを特定するネットワーク環境情報と当該ネットワーク環境情報で示されるネットワークに対して前記デバイスドライバの自動インストールの可否を設定し、当該設定内容を記憶保持する設定手段と、

前記ネットワーク通信手段により接続中のネットワークが前記設定手段で設定されたネットワーク環境情報のいずれに該当するかを判断する判断手段と、

前記判断手段で該当すると判断されたネットワーク環境情報に基づく設定内容を表示する表示手段と、

前記表示手段により表示された設定内容に従い、接続中のネットワークのネットワークデバイスに対応するデバイスドライバの自動インストールの可否を切り替えるよう制御する制御手段と

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、接続中のネットワーク上のネットワークデバイスから発行されたネットワーク参加メッセージの、前記情報処理装置が搭載している OS への通知、或いは、前記 OS からネットワークデバイス検索要求メッセージのネットワークへの送信について、遮断 / 通過のいずれかを実行することにより、接続中のネットワークのネットワークデバイスに対応するデバイスドライバの自動インストールの可否を切り替えるよう制御することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記ネットワーク環境情報は、DHCP を利用する / しない、自身の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバアドレス、DHCP サーバアドレスを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記ネットワーク環境情報は、前記ネットワーク接続手段の種類を含むことを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

更に、前記ネットワーク接続手段によって接続中のネットワークが、前記設定手段で設定・保持されたネットワーク環境情報で示されるいずれのネットワークとも異なる新規接続ネットワークであるか否かを判別する判別手段と、

該判別手段で新規接続ネットワークであると判別した場合、前記設定手段を起動する起動手段と

を備えることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

更に、前記設定手段で設定された設定内容を編集する編集手段を備えることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

ネットワークデバイスのデバイスドライバの自動インストールは、ネットワークプラグアンドプレイを利用し、前記ネットワーク参加メッセージは Hello メッセージ、前記ネットワークデバイス検索要求メッセージは Probe メッセージであることを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記設定手段は、前記 Hello メッセージに対する応答許可 / 不許可、前記 Probe メッセージのネットワークへの送信許可 / 不許可を個別に設定することを特徴とする請求項 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

ネットワーク通信手段を介してネットワークデバイスを検出し、当該検出したネットワークデバイスに対応するデバイスドライバを自動インストールする情報処理装置の制御方法であって、

接続するネットワークを特定するネットワーク環境情報と当該ネットワーク環境情報で示されるネットワークに対して前記デバイスドライバの自動インストールの可否を設定し、設定内容を記憶保持する設定工程と、

前記ネットワーク通信手段により接続中のネットワークが前記設定工程で設定されたネットワーク環境情報のいずれに該当するかを判断する判断工程と、

前記判断工程で該当すると判断されたネットワーク環境情報に基づく設定内容を表示する表示工程と、

前記表示工程により表示された設定内容に従い、接続中のネットワークのネットワークデバイスに対応するデバイスドライバの自動インストールの可否を切り替えるよう制御する制御工程と

を備えることを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 10】

ネットワーク通信手段を介してネットワークデバイスを検出し、当該検出したネットワークデバイスに対応するデバイスドライバを自動インストールするコンピュータである情報処理装置が実行するコンピュータプログラムであって、

前記コンピュータを、

接続するネットワークを特定するネットワーク環境情報と当該ネットワーク環境情報で示されるネットワークに対して前記デバイスドライバの自動インストールの可否を設定し、当該設定内容を記憶保持する設定手段と、

前記ネットワーク通信手段により接続中のネットワークが前記設定手段で設定されたネットワーク環境情報のいずれに該当するかを判断する判断手段と、

前記判断手段で該当すると判断されたネットワーク環境情報に基づく設定内容を表示する表示手段と、

前記表示手段により表示された設定内容に従い、接続中のネットワークのネットワークデバイスに対応するデバイスドライバの自動インストールの可否を切り替えるよう制御す

る制御手段

として機能させることを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項 11】

請求項 10 に記載のコンピュータプログラムを格納したことを特徴とするコンピュータ可読記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

この課題を解決するため、例えば本発明の情報処理装置は以下の構成を備える。すなわち、

ネットワーク通信手段を介してネットワークデバイスを検出し、当該検出したネットワークデバイスに対応するデバイスドライバを自動インストールする情報処理装置であって

、
接続するネットワークを特定するネットワーク環境情報と当該ネットワーク環境情報で示されるネットワークに対して前記デバイスドライバの自動インストールの可否を設定し、当該設定内容を記憶保持する設定手段と、

前記ネットワーク通信手段により接続中のネットワークが前記設定手段で設定されたネットワーク環境情報のいずれに該当するかを判断する判断手段と、

前記判断手段で該当すると判断されたネットワーク環境情報に基づく設定内容を表示する表示手段と、

前記表示手段により表示された設定内容に従い、接続中のネットワークのネットワークデバイスに対応するデバイスドライバの自動インストールの可否を切り替えるよう制御する制御手段とを備える。